

令和7年度日米共同統合防空・ミサイル防衛(防勢)訓練(RS26)について

項目		内容	
訓練目的		日米共同統合防空・ミサイル防衛(防勢)訓練は、国内の防空、ミサイル防衛に必要な自衛隊の統合運用能力及び日米共同対処能力の向上を図るために実施します。	
訓練の沿革		訓練は、平成29年度から実施しており、本年度で9回目となります。	
訓練の日程		令和8年2月23日(月)～26日(木)(4日間) ※訓練の前後に準備・撤収期間を設定	
訓練実施場所	海自	横須賀地区	
	空自	千歳基地、三沢基地、横田基地、入間基地、岐阜基地、春日基地、那覇基地、霞ヶ浦分屯基地及び饗庭野分屯基地	
	米軍	横須賀基地、横田基地及び嘉手納基地 ※その他、米本国の所在地での参加あり	
参加部隊等		自衛隊: 統合作戦司令部、自衛艦隊及び航空総隊 米 軍: 第94防空ミサイル防衛司令部、第38防空砲兵旅団、第1防空砲兵連隊第1大隊、第7艦隊、第613航空宇宙作戦センター及び第5空軍	
訓練の内容		各部隊が保有するシミュレーション装置を相互に接続し、所在基地内の各部隊指揮所等で弾道ミサイル等に対する対応訓練を行うものです。	【訓練のイメージ】 